

2025年度 第1回町田市地域密着型サービス運営委員会議事要旨

会議名称	2025年度第1回町田市地域密着型サービス運営委員会	第1回
日 時	2025年7月16日（水）19:00～20:00	
会 場	市庁舎2階 会議室2-2	
参 加 者	<p>委 員：井上委員長、菅沼委員、木口委員、大島委員、谷田部委員</p> <p>事務局：</p> <p style="padding-left: 20px;">＜いきいき生活部介護保険課＞ 江藤課長、古川担当課長、諏訪係長、大島担当係長、八木、宮越</p> <p style="padding-left: 20px;">＜いきいき生活部いきいき総務課＞ 武藤課長、大島係長、松田係長、沼田、阿部</p> <p style="padding-left: 20px;">＜地域福祉部指導監査課＞ 石川担当係長、藤田</p>	
傍 聴 人	3人	
会議議題	<p>議題</p> <p>1. 報告</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 地域密着型サービス事業所の指定等について</p> <p style="padding-left: 40px;">① 市内事業所の新規指定及び指定更新について</p> <p style="padding-left: 40px;">② 市内事業所の再開及び休止、廃止について</p> <p style="padding-left: 40px;">③ 他市に所在する地域密着型サービス事業所の指定等について</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 「町田市いきいき長寿プラン24-26」における公募による地域密着型サービスの整備状況について</p> <p>2 意見交換</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 「(仮称)町田市いきいき長寿プラン27-29」策定に向けた事業所調査の実施について</p>	
資 料	<p>(市提供資料)</p> <p>資料1 : 地域密着型サービス事業所の指定等について</p> <p>資料2 : 「町田市いきいき長寿プラン24-26」における公募による地域密着型サービスの整備状況について</p> <p>資料3 : 「(仮称)町田市いきいき長寿プラン27-29」策定に向けた事業所調査の実施について</p> <p>資料3参考：2022年度高齢者の福祉や介護に関するアンケート調査【事業所調査】</p>	

	<p><次第3 報告事項></p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。資料2まで説明が終わりました。今までの報告の中でご質問等あればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。どうぞ。</p> <p>はい。それではよろしく申し上げます。</p>
委員	<p>はい、よろしく申し上げます。すいません、勉強不足で申し訳ないのですが、夜間対応型の訪問介護について素朴な質問をいたします。</p> <p>夜間対応型の需要についてはなかなか把握が難しい中で、どのような方を対象に見ていらっしゃるのかというところなんです。実際に、その1事業所でどこまで見ることが可能なのでしょうか。以前、夜間対応型はうまく機能しなかったということがあったのですが、1法人で全市内を当時は担当していたかと思うのですが、今回、1事業所が指定を受けられて、この事業所はエリア的なものを含めてどのような状況なのかというところを知りたいと思います。</p>
事務局	<p>はい、介護保険課給付係です。夜間対応型訪問介護ですが、夜間帯に訪問介護が必要な方が利用できるようなサービスとなっております。そうした夜間限定のサービスというところから、実際の需要が少ない状況です。定期巡回・随時対応型訪問介護看護があり、緊急も含めて、随時訪問してもらえる、訪問できるというサービスがある一方で、夜間対応型訪問介護は夜間だけというところであって需要が少ない状況です。また夜間対応型訪問介護は2025年3月31日で1事業所が廃止となりましたが、2025年5月1日に別の事業者について町田市では指定を行い、1事業者が開設しているという状況です。</p>
委員	<p>事業のエリア的には原町田などそのあたりでしょうか。</p>
事務局	<p>現在指定しているところは、町田圏域のみとなっております。</p>
委員	<p>私の記憶では、私が働き始めたころにはそうした定期巡回・随時対応型訪問介護看護はなかったので、日中何かあれば緊急コールをするということでした。定期巡回・随時対応型についてもなかなか需要が見込めない状況ではないでしょうか。実はうちの居宅介護支援事業所でも1人もご利用者がいない状況です。サービス自体が少ないという状況もありますが、なかなかこれまで居宅介護支援を行ってきた中でも、10数年行ってきましたが、1ケースもこの夜間対応型訪問介護をご利用された方がいなかったため、少しお聞きしました。</p>
委員長	<p>委員の中で補足説明ございますでしょうか。</p>
委員	<p>はいお話いたします。夜間対応型訪問介護の廃止の最大の理由は、やはり利用者がいなかったということです。結局、夜間対応型訪問介護で実際に事業所から車またはバイクで行ってサービス提供するという範囲がやはり限られてしまっていたということがあります。それからやはり夜間対応型訪問介護についてケアマネジャーに根付かなかった最大の理由は金額が高いというところとプランのたて方が難しかったということが理由ではありました。法人でサ高住をもっているのも、その中の方や事業所のある地域のサポートをするということやそのバランスを考えて、悩んできましたが、最終的にはご家族が選ばなかったり、ケアマネジャーが逆に悩まれてしまったりしてそのまま利用につながりませんでした。廃止の事業所は2025年3月31日で終わっていますが、実際には</p>

	<p>年を明けた1月2月頃から動き出して、利用者にサービスそのものをやめますか、定期巡回・随時対応型訪問介護看護に切り替えますかということをしたしましたが、ほとんどの方がサービス終了という形で終わりました。定期巡回・随時対応型訪問介護看護に移られた方は1ケースだったかと思います。この場合はこのような形となりましたが、開かれた場所によって全く違うとは思いますが、今回指定を受けた事業者はそこでどのようにされるのかというところです。町田市内に夜間対応型訪問介護は必要だろうと思うのですが、そうであれば毎回出る話ではありますが、どうやって広めていったらいいのかと、ケアプランのたて方をどうしたらいいのかという具体的なことを伝えていかないと、家族にはなかなか伝えづらいことなのではないかと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。この点について他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、よろしく願いいたします。この夜間対応型訪問介護の件ですが、確かに使いづらく、どういうふうに使ったらいいのかというのが分かりづらいものだと思います。しかし、以前に、もう随分前ですが、私が把握するものでは利用した例が1件ありました。その方はパーキンソンの方で、朝起きても動けないのですが、動けないときに朝5時に薬を飲んで30分ぐらいすると動けるようになるので、それからトイレに行くという状況でした。朝5時はなかなかヘルパーが入れないので、その夜間対応型訪問介護の方をお願いしてという形でたまたまご紹介をいただきました。訪問エリアとしては少しきついが、なんとか頑張りますと言っていたのでしていただいたのですが、そうした使い方ができるのだろーと思えます。ただ、どうやって使ったらよいかについては、それこそ朝の5時にお薬を飲まないといけないというのを教えてもらわないと、私たちもその朝の5時の薬をどうやって飲ませようか、誰が飲ませたらよいか、一人暮らしの方で、どうやって飲ませたらよいだろーかというのはわからず、悩んでいたところがあったので、なかなかわからないもでしたので、そうしたサービスを皆さんに使ってもらわないと事業者が増えていかないと考えています。事業者が増えるような何か、そういうことができたらいいなと思えます。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。サービスについては、使い勝手、あるいは広め方といった色々な継続した問題がありそうですね。そういった問題と、それからその他のサービスの重なり、あるいは他のサービスとの差別化と言ったらいいでしょうか、そういったところもお分かりづらいいいことがあるかと思えますので、そのあたりまた今後引き続きあの協議していけたらと感じております。ありがとうございます。他にもありますでしょうか。</p> <p>はい、そうですね。この後、また意見交換の場がありますので、こちらの方でもいただければと思えますので、よろしく願いします。</p> <p>それでは、次の次第に移っていきたいと思えます。</p> <p><次第4 意見交換></p>
<p>委員長</p>	<p>では、意見交換にはります。資料3及び資料3参考等について質問あるいは意見ということでお伺いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>はい。読ませていただいて今思ったことは、特別養護老人ホームについては今ICTなど一生懸命行っているところだと思えますのですが、そうした補助金も出ておりますし、同様にこちらにそうした質問は足した方がよいかどうかというところです。というのも、特別養護老人ホームをはじめ介護サービスは本当にお金がない状況で、施設部会等でも話しているところではありますが、同じよ</p>

	<p>準というのは義務と考えております。できないというのではなく、するべきものであり、できないという回答があっても、行ってくださいといわざるを得ないところです。ただ、BCPに関しましては、やはり始まったことはどのようにたてたらよいかというお話はかなりいただいておりますので、その策定のための研修等は過去実施させていただいたということがございます。</p> <p>そして、アンケート全体のごことで申し上げますと、先ほど申し上げましたとおり運営の部分は義務的な部分もございますので、なかなか難しいところではありますが、介護人材の取り組みのところなどでは、事業所の皆さまから有効であるといった意見をいただいた内容については、現在の計画に盛り込んで、資格補助を実施するなど反映させていただいております。</p> <p>できるところ、できないところはございますが、いただいたご意見は受け止めて施策に反映できるように努めていきたいと考えております。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。そうですね、なかなか施設単体ですと、研修やトレーニングがやりにくいところがあるかと思っておりますので、そこをうまく拾い上げていただいて、市の方でサポートいただけたらありがたいのではないかと思います。ありがとうございます。</p> <p>はい、ほかにいかがでしょうか。はい、では委員、よろしく申し上げます。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、よろしく申し上げます。設問の数からみても、かなりやはり人材確保をというところの課題について捉えていただいていると思います。ただ正直、なかなかハローワークに出していても、ただ待っている状態で、なかなかやはり来ないという状況の中で、どうしても紹介業者さんを利用しないといけないという状況がもう本当ずっと続いていています。また、そうかといってこの入職していただいた方が、1週間2週間かけて勤務いただいて見極めていただければ、正直戻ってくる金額もあるのですが、少し経ったところで退職となってしまうと、その費用は事業所の経営をかなり圧迫しているところです。設問の中では、どのようなツールでというところで聞いていただいているのですが、やはり実際に紹介業さんを使っている事業所さんは多いと思いますので、もう少し一歩踏み込んでいただけるとよいのかと思っております。たまたまですが、他自治体を見た際に、何割かの助成があるといったそうした取り組みをしているところもありました。なかなか費用が必要などころではある話ではありますがそういったことです。それから、採用のところでは、東京都の介護職員への居住者支援の影響は非常に大きく、やはりその反響は相模原の方などが面接に来られると大きいところです。ただこの支援は5年間あるのですが、どこまで続くのかわからない中で、町田市として介護職員をやはりこれから充足させていかなければいけないと思いますので、ぜひその辺にか状況が把握できるものがあつたほうがいいのではと個人的には思いました。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。そうした人材確保のあたりの設問、あるいは最近の動向をというのを踏まえたような設問の工夫をといったところでしょうか。そのあたりもし考えがありましたらご説明いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。はい、どうぞよろしく申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい、いきいき総務課です。ご意見ありがとうございました。問14の職員の確保、職員の介護人材確保というところは、私どもも今最重要課題の1つというふうに考えております。この前の計画においても3つ重点事業を設けておりますけれども、その1つが介護人材ということになっております。</p> <p>この介護人材の確保についての状況としては、この計画策定をした段階から考えてもさらに厳しくなっていくというのが肌感覚であると思っております。</p>

	<p>ただ、介護業界のみが苦しくなっているというよりは、サービス業全体が非常に厳しくなっている中で、介護業界はさらに厳しくなっているという印象を受けているというところがございます。もう少し深掘りした設問を、というお話をいただいておりますが、例えば前回のアンケートの項目でどのようなツールを使っていますかというご質問については1位がハローワーク、2位がインターネットや携帯ツールを介した募集、そして3位が有料職業紹介の人材派遣を利用という順で並んでおります。そして有料職業紹介が36.5%という回答になっております。比較の観点から申し上げますと、この項目はこのまま残して、次にどう回答が動くのかというところをみていきたいと考えております。それから、実態として、今は紹介業といいますが、いろいろな形に変化してきているのを感じています。サービスもいろいろな種類がでてきております。また国の方でも、費用の負担についてはかなり重要視をしまして、上限をかなり厳しくしてきているというような動きも出てきておりますので、このあたりは注視していきたいと考えています。以上です。</p>
<p>委員</p>	<p>ありがとうございます。そうですね、私も経営している立場としてハローワークはまあとりあえず出しておくというところではあります。採用費の部分で来ていただければありがたいなというところで、とりあえず出す法人は多いと思っております。次にやはり比較的费用を抑えられるというところでインターネットなどです。そしてその次に、やはりそれでも来ないので最終的な手段というところで有料にという感じだと思うのですが、なかなかこの採用の状態がここ数年、もう一気に有料職業紹介にいかないと、現場側も本当に間に合わないという状況が起きていますので、なかなかこの数字だけですと、ハローワークで採用ができていないところが多いのではないかなというのは感じています。現場としてはそういう状況があるというところは、お伝えさせていただきたいと思っております。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 はい、では委員どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、よろしくおねがいたします。私もたまたま本日こうした事例がありまして、介護職員さんのご紹介で30年のご経験があって介護福祉士の資格がある方でしたが、紹介で30%、30年の介護経験があるので年収450万円というものでした。また施設の看護師さんは非常に高く、紹介派遣での時給は3300円でした。それでも時給3400円を3300円に何とかしていただいたのですが、それで紹介料で30%というものでした。このようになってくると、本当に300万、400万があつというまに飛んでしまいますし、これが現状です。しかし、やはり医療も福祉も待たないですので、やはり現場で疲弊していく職員を考えると、そこに一番お金を入れざるを得ないというところではあります。それでも、委員もおっしゃられたように、3か月くらいするとなんかちょっと違いますとおっしゃってすぐにやめられてしまったりしてしまうものですから、何が違うのかなと、なかなかやはり難しいと感じています。ほんとに人の確保をしていくといったことがどこの法人さんも大変な状況で、例えばうちも紹介を入れているのですが、そこからの紹介窓口で1人入れると、そこばかりになってしまうという、いわゆるうちの職員が紹介窓口のところにいるような形で、その紹介会社への紹介会社があって、そこに依頼をして年間いくらかのお金、いわゆる非常勤さんくらいの金額を払って、24時間採用が動いているようにしておいて、そうした第一次審査を終えてから事業所にくるという形にしておかないと普通の総務課の仕事もできなくなってしまうという状況です。そういうことも考えていますが、特段に何が言いたいかわからなかったら、言いたくないので</p>

	<p>ですが、これだけお金がかかるということについて今日たまたま採用があったので話させていただきました。</p> <p>今日採用のお話をした方は、お2人とも真面目な方でよい方だったのですが、本当はハローワークを通じて採用できたらよかったと思うので、いつもどうして紹介会社通されるのですかと伺うようにしています。するとハローワークだと遅いという、やはりすぐに働きたいと考えているのですぐに対応してもらえるとというのは断然の差があるとのことでした。ハローワークさんにはこうした事情を話せる機会があれば、もちろんハローワークさんは頑張っていると思っておりますし、町田市はきちんと人材開発センターで入ってきちんとタッグを組んできちんとしているとも思っていますが、現実的にはこうした状況であるということですので。すみません、ただ言ってみただけの話になってしまいました。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。現場の大変さというか、現場のことについて本当に知る必要があると思いますので本当にありがたい情報提供であったと思います。その点、町田市には人材開発センターもありますし、そういった点ではリードできる可能性のある自治体であると考えておりますので、またそのあたりの工夫についてご意見いただきながらやっていければさらに可能性があるかなというところを期待しているところであります。貴重なお話をありがとうございました。ほかにいかがでしょうか。</p> <p>はい、委員お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、よろしく願いいたします。16ページの町田市への要望についてお尋ねします。実際に私もこの会議に何年か携わってきて、先ほどの夜間対応型訪問介護がうまく回らないでしたり、定期巡回・随時対応型訪問介護看護がなかなか増えなかったり、看護小規模多機能型居宅介護が増えなかったり、これらはやはり人材の確保と利用者がなかなか増えないということではないかと思えます。うちの法人も看護小規模多機能型居宅介護を行っていますが、赤字です。そのため、町田市で増やすことは絶対できないといわれています。そうした事情があって、なかなか増えないのは、事業計画としては出してはくるのですが、実際に手を出せないのはやはり赤字になってしまうといったところがあるのではと思っています。でも施策として、いくつを目指しましょう、いくつはめざしましょう、とおっしゃっていると思うのですが、なかなかそこが本当にどこまで需要があるのだろうか、他に何か代替えの施策を考えていった方がいいのではないだろうかということを考えてしまいます。何がというのは出せないのですが。ここを強化したほうがいいのか、といったそういうものをもしこの質問事項で引き出せたら、次の施策につながるのではないかと、看護小規模多機能型居宅介護にすぎるとは他を考えていた方がいいのではないかと、他に町田市はシフトしたほうが良いのではないかとといったそのようなことを考えてみたりもしています。自由記載だとなかなかそういうものも出てこないで、何か施策につながるような意見の聞き方ができたら良いのではないかと思います。事業所としてそうしたものを例えば考えるのか考えないのか、考えないのはなぜか、といったものがあるともしかして見込みがある、新規参入があればもちろんよいのですが、今ここにある事業所が手を出していくのか手を出していかないのか、全然手を出す事業者がないよと言ってるのに、施策で作ろう作ろうと言ってもおそらく作れはしないのだろうと思います。なにかそうしたことが引き出せるようなないか質問があればもしかしたらよいのではないかと個人的には思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。事業所の悩みが可視化できるような質問になってくるといいというご意見かと思っておりますので、そのあたりお考えいただきなが</p>

	<p>ら、さらにいい質問になってくれればと思っております。ありがとうございました。</p> <p>他にございますでしょうか。ではよろしいでしょうか。また何か質問等ございましたら事務局にお寄せいただいでよりよい調査にできればと思っておりますので今後ともよろしく願いしたいと思っております。</p> <p>では、時間も迫ってまいりましたので、ここまでとしまして、事務局にお戻ししたいと思います。どうぞよろしく願い致します。</p>
--	---